

厚沢部町

医療施設個別施設計画

目次

厚沢部町　医療施設個別施設計画

### 第１章　　はじめに 1

### 第２章　　医療施設個別施設計画の背景・目的等 2

### （1）背景・目的

### （2）将来の人口予測～厚沢部町人口ビジョンより

### （3）計画期間

### （4）本計画における対象施設

### 第３章　　医療施設の現状 ５

### （1）医療施設の基本情報

### （2）医療施設の運営状況等

### （3）医療施設の老朽化状況の実態と整備履歴

### （4）現状を踏まえた課題

### 第４章　　医療施個別施設計画の基本的な方針 11

### （1）医療施設整備の基本的な方針

### （2）医療施設の目標使用年数

### （3）整備等の優先順位付け

### 第５章　　実施計画 14

### （1）点検・診断及び修繕等の実施計画

### （2）施設修繕等の実施計画

### （3）実施計画の運用方針

※本計画書中に記載している表の数値は、四捨五入の関係で数値の合計が合わない場合があります。

第１章

はじめに

　全国的に、高度経済成長期に整備した公共施設の多くで老朽化が進行し、近い将来、一斉に更新時期を迎えようとしています。

　このような状況の中、2013年11月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を定め、インフラを管理・所管する者に対し、当該施設の維持管理や更新を着実に推進するための行動計画や施設ごとの個別施設計画の策定を要請しています。

　厚沢部町国民健康保険病院は、町内唯一の医療機関として、地域医療の中心的な役割を担っています。

　町民の高齢化が進行する中、町内での通院加療を望まれる患者が多く、入院患者は、80歳以上の高齢患者、在宅療養では対応が厳しい患者がおり、自宅や介護施設等では対応できない医療ニーズの高い患者が多い状況です。

　また、特養施設や有料老人ホーム（ゆいま～る）の入所者には回診等を含めた医療サービスの提供を行うとともに、緊急告示病院、南檜山圏域の当番医制参加医療機関、町民等への初期救急医療の提供など、保健・医療・福祉の連携における中核施設です。

　今般、病院等の老朽化状況、維持管理・更新などの具体的な方針やコスト管理をとりまとめた「医療施設個別施設計画」を策定することにより、町民の安全の確保、中長期的な維持管理・更新などに係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図ります。

■インフラ長寿命化計画の体系

【個別施設計画】

【個別施設計画】

【国】

【地方】

【基本計画】

インフラ長寿命化基本計画【国】

（2013年11月策定）

【行動計画】

各省庁が策定

（2016年度までに策定）

【行動計画】

公共施設等

総合管理計画

学校

河川

道路

学校

河川

道路

参考資料：総務省　インフラ長寿命化計画の体系

第２章

医療施設個別施設計画の背景・目的等

# (１) 背景・目的

　厚沢部町では、様々な町民ニーズに対応して、医療施設、町営住宅、コミュニティ施設などの建築施設や道路、上下水道などのインフラ施設といった多くの公共施設を整備してきました。

　医療施設は全部で２施設あり、厚沢部町国民健康保険病院は1986年度に全面改築を行いましたが、改築から既に30年以上経過し、老朽化が進んでいる状況です。師長住宅についても1986年度に建てられた施設で、病院と同様に老朽化が進んでいる状況です。

　医療施設は、地域の住民に対し医療を提供する場として重要な意義を持っています。

　一方で、人口減少や少子高齢化の進展などに伴う社会情勢の変化により、財政状況は一層厳しさを増していくことが予想されます。

　よって、本計画では、医療施設の長寿命化を図るとともに、医療施設としての機能・性能を確保しながら、中長期的な維持管理・更新などに係るトータルコストの縮減や予算の平準化を目指し、安全な施設環境を確保することを目的とします。

■個別施設計画の上位計画・関連計画

|  |
| --- |
| 厚沢部町第６次総合計画 |
|  |  |  |  |  |
| 厚沢部町公共施設等管理計画 |
|  |  |  |  |  |
| 厚沢部町個別施設計画 |  | 厚沢部町医療施設個別施設計画 |  | 厚沢部町橋梁長寿命化修繕計画 |

# (２) 将来の人口予測～厚沢部町人口ビジョンより

　厚沢部町の人口は、1960年の10,651人をピークに減少を続け、2020 年には3,618人となり、ピーク時の34％程度に減少しています。

　また、厚沢部町の将来人口について、国立社会保障・人口問題研究所によれば、2040年には2,128人にまで減少することが予測されています。

　人口を年齢区分で見ると、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15歳～64歳）は減少が続き2015時点から半減し、老齢人口（65歳以上）も2015年をピークに減少を続ける見込みです。

■厚沢部総人口の推移

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **2000年** | **2005年** | **2010年** | **2015年** | **2020年** | **2025年** | **2030年** | **2035年** | **2040年** |
| **0～14歳** | 636 | 541 | 484 | 440 | 392 | 345 | 294 | 246 | 213 |
| **15～64歳** | 3,042 | 2,717 | 2,393 | 2,053 | 1,699 | 1,444 | 1,223 | 1,063 | 862 |
| **65歳以上** | 1,427 | 1,517 | 1,532 | 1,556 | 1,527 | 1,415 | 1,305 | 1,155 | 1,053 |
| **総人口** | **5,105** | **4,775** | **4,409** | **4,049** | **3,618** | **3,204** | **2,822** | **2,464** | **2,128** |

※2015年までは国勢調査、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所の人口推計に基づき作成。

# (３) 計画期間

　本計画は可能な限り計画期間の長期化を図ることで、中長期的な維持管理・更新などに係るコストの見通しを図るため、2022年度から2030年度までの9年間とし、5年程度を目安に上位計画や関連する計画の策定・改訂状況や社会情勢の変化などに応じて、見直しを図っていくこととします。

■本計画の計画期間

**計画期間： 2022（令和４）年度～2030（令和12）年度**

# (４) 本計画における対象施設

　本町ではこれまでに、本計画とは別に厚沢部町個別施設計画などの個別施設計画（長寿命化計画）を策定しています。本計画はこれらの計画と別に作成するものであり、他の個別施設計画（長寿命化計画）と本計画は相互に連携をとり、計画推進を図ります。

　以上を踏まえ、本計画の対象施設は以下のとおりとします。

■本計画の対象施設

|  |  |
| --- | --- |
| 施設分類 | 施設名 |
| 病院 | 厚沢部町国民健康保険病院 |
| 住宅 | 師長住宅 |

　また、厚沢部町国民健康保険病院に関連する主要な医療機器・設備についても維持・更新が必要となりますので、下記の医療機器と設備についても計画の対象とします。

■主要な医療機器と設備

|  |  |
| --- | --- |
| 医療機器 | 全身用CT撮影装置、電子内視鏡、デジタルX線テレビ、超音波診断装置、オーダリングシステム |
| その他設備 | ダムウェーダー、給排水設備、給食設備、暖房設備、電気設備 |

第３章

医療施設の現状

# (１) 医療施設の基本情報

**①医療施設の基本情報**

　2021年度末現在における本町の施設の基本情報は以下のとおりです。

　現在、厚沢部町には病院が１施設、師長住宅が１施設、合計2施設あります。

取得年度から見ると、厚沢部町国民健康保険病院、師長住宅ともに建築後30年以上経過し、朽化が進んでいる状況です。

■医療施設の基本情報

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設分類 | 施設名 | 運営形態 | 面積(㎡) | 取得年度(年) | 構造 | 取得価額（千円） |
| 病院 | 厚沢部町国民健康保険病院 | 直営 | 3,400.1 | 1986 | 鉄筋コンクリート | 583,510 |
| 住宅 | 師長住宅 | 直営 | 124.7 | 1986 | 木造 | 8,800 |

■厚沢部町国民健康保険病院の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所在地 | 診療科 | 病床数 |
| 北海道檜山郡厚沢部町新町14−1 | 内科、外科、眼科 | 一般：45床 | 療養：24床 |

**②主要な医療機器の基本情報**

　厚沢部町国民健康保険病院における主要な医療機器は以下のとおりです。医療機器は診断や治療にとって必要なものであり、安全に使用できなければなりません。また、高額である医療機器もあることから計画的に更新していく必要があります。

　病院の主な医療機器としては、全身用CT撮影装置、内視鏡、デジタルＸ線テレビ、超音波診断装置など、検査に必要な医療機器があります。また、オーダリングシステムのように、診療の質や業務を迅速化するための設備があります。

　これらの医療機器を安全に使用するために保守点検を行っています。劣化した医療機器については、基本的に入れ替えとしますが、人口や検査対象患者の減少などを考慮し検討します。

■医療機器の基本情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 医療機器名 | 取得年度 | 取得価格（千円） | 医療機器の現状 |
| 全身用CT撮影装置 | 1994 | 43,930 | 定期的に保守管理を行い、現在も使用中。 |
| 電子内視鏡 | 1999 | 10,115 | 定期的に保守管理を行い、現在も使用中。 |
| デジタルX線テレビ | 2007 | 14,175 | 定期的に保守管理を行い、現在も使用中。 |
| 超音波診断装置 | 2014 | 37,569 | 定期的に保守管理を行い、現在も使用中。 |
| オーダリングシステム | 2020 | 46,000 | システム老朽化に伴い、2020年オーダリングシステムの入れ替えを行った。保守管理を行い、現在も使用中。 |

**③その他病院設備の基本情報**

　その他病院の主要な設備については、病院開設時に取得しており、安全に使用するために保守点検を行っていますが、取得後30年以上経過していることもあり、入れ替えを検討する必要があります。

■病院設備の基本情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備名 | 取得年度 | 取得価格（千円） | 医療機器の現状 |
| ダムウェーダ― | 1986 | 14,480 | 定期的に保守管理を行い、現在も使用中。 |
| 給排水設備 | 1986 | 79,665 | 定期的に保守管理を行い、現在も使用中。 |
| 給食設備 | 1986 | 16,800 | 定期的に保守管理を行い、現在も使用中。 |
| 暖房設備 | 1986 | 134,947 | 定期的に保守管理を行い、現在も使用中。 |
| 電気設備 | 1986 | 73,513 | 定期的に保守管理を行い、現在も使用中。 |

# (２) 医療施設の運営状況等

**①医療施設の利用状況**

　医療施設の過去3年間利用者数は下記のとおりです。なお、厚沢部町国民健康保険病院は利用患者数を、師長住宅については利用職員数を記載しています。

　利用患者総数は、過去3年間の推移を見ると緩やかに減少しています。

　外来患者数は、年間12,500人前後で推移し、入院患者については年間8,000人弱となっています。

■医療施設の利用状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　施設名 | 対象者 | 利用者数（単位：人） |
| 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 外来患者延べ数 | 12,360 | 12,706 | 12,583 |
| 入院患者延べ数 | 8,482 | 7,534 | 7,625 |
| 師長住宅 | 師長住宅利用者 | 1 | 1 | 1 |

■厚沢部町国民健康保険病院の延べ患者数

**②運営費の推移**

　厚沢部町国民健康保険病院における2017年度から2019年度の3年間の経常収入は、年間平均で約477,370千円、経常支出は約477,345千円です。

　入院収入が減少する一方、外来収入は増加していますが、赤字補填を一般会計補助金で賄われている状況です。経常支出については、微増しています。

単位（千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　厚沢部町国民健康保険病院 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 3年平均 |
| 入院収入 | 145,127 | 128,331 | 129,792 | 134,417 |
| 外来収入 | 70,177 | 74,185 | 74,149 | 72,837 |
| その他収入 | 59,140 | 61,449 | 23,946 | 48,178 |
| 一般会計補助金 | 202,447 | 213,247 | 250,120 | 22,938 |
| 経常収入 | 476,891 | 477,212 | 478,007 | 477,370 |
| 薬品費 | 12,150 | 11,681 | 10,949 | 11,593 |
| 医療消耗備品費 | 16,164 | 16,325 | 16,161 | 16,217 |
| 委託料 | 55,161 | 55,616 | 58,082 | 56,286 |
| その他 | 393,399 | 393,566 | 392,781 | 393,249 |
| 経常支出 | 476,874 | 477,188 | 477,973 | 477,345 |

# (３) 医療施設の老朽化状況の実態と整備履歴

　各施設の状況を一覧にしています。耐震状況、劣化状況、バリアフリー化の状況などを記載しています。

**●耐震（診断/補強）**

　新耐震基準に適合しているかを示した指標です。1981年5月31日以前の建築確認において適用されていた旧耐震基準は、震度5強程度の揺れで建物が倒壊しない設定とされていますが、新耐震基準は震度6強～7程度の揺れでも倒壊しないような構造基準として設定されており、旧耐震基準の公共施設については、早い段階での方向性の検討が必要となります。

**●躯体性能・劣化度状況**

|  |
| --- |
| Ａ評価：概ね良好Ｂ評価：部分的に経年劣化が見られるＣ評価：全体的に経年劣化が見られるＤ評価：早急に対応する必要がある劣化・不具合 |

■各施設の劣化状況等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設名 | 耐震安全性 | 劣化状況評価 | バリアフリーの状況 |
| 基準 | 診断 | 補強 | 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上 | 電気設備 | 機械設備 | エレベーター | バリアフリートイレ | 車椅子専用駐車場 | スロープ |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 新耐震 | ― | ― | B | B | B | B | B | 対応済 | 対応済 | ４台分有り | 対応済 |
| 師長住宅 | 新耐震 | ―- | ―- | B | B | B | B | B | ― | ― | ― | ― |

■過去の整備履歴

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | 取得年度 | 点検・整備履歴 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 1986 | 1999年度　冷房設備交換 |
| 師長住宅 | 1986 | 2010年度　屋根補修 |

　現時点では、大規模な整備予定はありませんが、引き続き観察を行い、劣化状況などを踏まえて施設整備を検討していきます。

# (４) 現状を踏まえた課題

**①施設ごとの課題**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | 取得年度 | 課題 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 1986 | 経年劣化が進んでいるので、随時メンテナンスが必要な状況である。 |
| 師長住宅 | 1986 | 経年劣化が進んでいるので、今後対応策を検討する必要がある。 |

**②医療機器ごとの課題**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 医療機器名 | 取得年度 | 課題 |
| 全身用CT撮影装置 | 1994 | 減価償却の耐用年数が8年、メーカー推奨耐用年数が10年となっているので、定期的な部品交換が必要である。 |
| 電子内視鏡 | 1999 | 減価償却の耐用年数、メーカー推奨耐用年数は６年となっているので、定期的な部品交換が必要である。 |
| デジタルX線テレビ | 2007 | 減価償却の耐用年数６年、メーカー推奨耐用年数は８年となっているので、定期的な部品交換やメンテナンスが必要である。 |
| 超音波診断装置 | 2014 | 減価償却の耐用年数、メーカー推奨耐用年数は６年となっているので、定期的に部品交換や保守が必要である。 |
| オーダリングシステム | 2020 | 減価償却期間の耐用年数は４年であるが、機器が対応できるうちは定期的なメンテナンスで対応する。 |

**③病院設備ごとの課題**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設備名 | 取得年度 | 課題 |
| ダムウェーダ― | 1986 | 経年劣化が進んでいるので、今後対応策を検討する必要がある。 |
| 給排水設備 | 1986 | 経年劣化が進んでいるので、今後対応策を検討する必要がある。 |
| 給食設備 | 1986 | 経年劣化が進んでいるので、今後対応策を検討する必要がある。 |
| 暖房設備 | 1986 | 経年劣化が進んでいるので、今後対応策を検討する必要がある。 |
| 電気設備 | 1986 | 経年劣化が進んでいるので、今後対応策を検討する必要がある。 |

第４章

医療施設個別施設計画の基本的な方針

# (１) 医療施設整備の基本的な方針

**①点検・診断等の実施に関する考え方**

●基本となる考え方

公共施設全体の安全の確保に関する考え方に準じ、施設の劣化及び機能低下を防ぎ、安全かつ快適に利用できるよう定期的な点検・診断などを実施します。

●点検・診断等の実施方針

　職員による清掃活動を日常的に行うほか、定期点検は専門業者が行い不具合の修繕と予防保全に努めます。点検結果についてはデータ蓄積を行い、各施設各部材の劣化状況を把握し、修繕計画に反映します。

●維持管理・修繕・更新の実施方針

鉄筋コンクリート及び鉄骨の老朽化に伴う劣化が認められた場合には、劣化の進行を抑制するための補修を検討し、予防保全に努めます。また、屋上の防水性は寿命に大きく影響するため、改修にあたっては、基本全面的な実施を行い、ライフサイクルコスト※の縮減に努めます。

　※ライフサイクルコストとは、施設建設費、点検補修費など施設にかかる生涯費用の総計です。

**②安全確保の実施方針**

地域住民が安全に施設を利用できるようにするため、点検・診断結果などに基づき危険性が認められたものについては、早急に対応し、施設の安全管理に努めます。

**③耐震化の実施方針**

非構造部の落下、什器などの転倒・移動により被害を与える可能性があるため、耐震性の強化が必要な場合には撤去・解体も含めた耐震対策に努めます。

**④長寿命化の実施方針**

継続的な点検活動や維持管理データの蓄積に加え、施設の長寿命化に資する修繕や改築等を検討し、予防保全を推進することで施設の長寿命化に努めます。また、改築等を行う際は、環境に配慮した改築検討、高耐久材料等による長寿命化対策及び病院活用人口の減少を踏まえた減床、バリアフリー化等についても検討し、ライフサイクルコストの縮減に努めます。

■更新・長寿命化・統廃合などのイメ－ジ

|  |  |
| --- | --- |
| 取組方法 | 取組のイメ－ジ |
| ①更新老朽化が進んだ施設を建て替えること。原則として、床面積は縮小する。 | 建替え新Ａ施設機能①Ａ施設機能①床面積Ａ＞新Ａ |
| ②長寿命化耐用年数を超えて使用できるよう大規模改修すること。 | 大規模改修Ａ施設耐用年数50年Ａ施設50年+α |
| ③統廃合余剰施設を同じ機能の施設に統合することにより、保有量を最適化すること。 | ※余剰Ｂ施設は他に用途がない場合廃止Ａ施設機能①機能①Ｂ施設機能① |

# (２) 医療施設の目標使用年数

建物の法定耐用年数は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和四十年大蔵省令第十五号）」において定められていますが、「建築物の耐久計画に関する考え方 - 日本建築学会」を参考に物理的耐用年数を調査したところ、法定耐用年数を超えて使用できることが判明しましたので、目標使用年数は以下のとおりとします。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設名 | 施設の方向性 | 取得年度(年) | 構造 | 法定耐用年数（年） | **目標使用年数****（年）** |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 長寿命化 | 1986 | 鉄筋コンクリート | 39 | 65 |
| 師長住宅 | 維持 | 1986 | 木造 | 22 | 40 |

# (３) 整備等の優先順位付け

施設の改修や建替えの際には、まず施設の重要性を基本とすることとし、これに老朽化状況を考慮して総合的に判断し優先順位を決めていきます。

**●施設の重要性の評価**

|  |
| --- |
| Ａ評価：施設の機能が不可欠であり、存続させる必要がある施設Ｂ評価：施設の機能が必要であり、存続させる必要性が高い施設Ｃ評価：施設の機能が必要ではあるが、代替性がある施設Ｄ評価：施設の機能が必要か、存続に向けて検討する必要がある施設 |

■各施設の劣化状況等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設名 | 耐震安全性 | 劣化状況評価 | **施設の重要性の評価** |
| 基準 | 診断 | 補強 | 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上 | 電気設備 | 機械設備 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 新耐震 | ― | ― | B | B | B | B | B | **A** |
| 師長住宅 | 新耐震 | ― | ― | B | B | B | B | B | **B** |

第５章

実施計画

# (１) 点検・診断及び修繕等の実施計画

　医療施設や医療機器・設備を長期的に活用するため、適切な点検・診断を実施し、劣化・損傷の把握に努めます。

　点検・診断の方法については、建築基準法第12 条による法定点検のほか、職員による通常点検（目視点検など）及び専門業者による詳細点検などにより行うこととします。

■今後の整備予定

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設名 | 取得年度 | 2022年度～2026年度 | 2027～2030年度 | 2031年度以降 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 1986 | スプリンクラー設備整備エレベーター改修 |  |  |
| 師長住宅 | 1986 |  |  |  |

■主要な医療機器の更新予定

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 医療機器名 | 医療機器の方針 | 取得年度 | 更新予定年度 |
| 全身用CT撮影装置 | 検討中 | 1994 | 未定 |
| 電子内視鏡 | 検討中 | 1999 | 未定 |
| デジタルX線テレビ | 更新予定 | 2007 | 未定 |
| 超音波診断装置 | 検討中 | 2014 | 未定 |
| オーダリングシステム | 更新予定 | 2020 | 2026 |

■主要な設備の更新予定

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備名 | 医療設備の方針 | 取得年度 | 更新予定年度 |
| ダムウェーダー | 更新予定 | 1986 | 未定 |
| 給排水設備 | 更新予定 | 1986 | 未定 |
| 給食設備 | 更新予定 | 1986 | 未定 |
| 暖房設備 | 更新予定 | 1986 | 未定 |
| 電気設備 | 更新予定 | 1986 | 未定 |

# (２)施設修繕等の実施計画

　「整備等の優先順位付け」の考え方を基に、施設修繕の実施計画を立てていきます。

　老朽化に伴う不具合に対応するためには、耐用年数を迎える前に大規模改修を実施することが必要になります。

　建物は大別すると建築（躯体）・電気設備・機械設備などで構成されていますが、実際に行われる改修の内容を見ると、屋根の防水、受変電設備、空調設備などさらに細分化された部位・部材の単位で行われ、実施のタイミングも対象となる部位・部材によって多岐にわたることが一般的です。

　よって、必要とされる改修の内容や実施のタイミングは様々で、現状に即した条件設定が困難であることから、次のように施設維持・更新コストを試算しました。

**●施設維持・更新コスト（目標使用年数まで使用した場合）**

　長寿命化により、施設を目標使用年数まで使用した場合の今後50年間の維持・更新コストを試算します。鉄筋コンクリート造の厚沢部町国民健康保険病院は建築後40年後に大規模改修を行い、65年間施設を使用すると仮定します。

　一方、木造の師長住宅は大規模改修を行わず、40年間施設を使用すると仮定します。試算結果は以下のとおりで、今後50年間の施設維持・更新コストは2,299,849千円となります。※施設の面積については現施設の床面積で計算しています。

■試算条件

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 改築年度 | 大規模改修年度 | 改築単価 | 大規模改修単価 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 2051 | 2026 | 400,000円/㎡ | 250,000円/㎡ |
| 師長住宅 | 2026・2066 | － | 360,000円/㎡ | 200,000円/㎡ |

（総務省の公共施設等更新費用試算ソフトから）

■今後50年間の施設維持・更新コスト

単位（千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 2022～2031年度 | 2032～2041年度 | 2042～2051年度 | 2052～2061年度 | 2062～2071年度 | 合計 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 850,025 | 0 | 1,360,040 | 0 | 0 | 2,210,065 |
| 師長住宅 | 44,892 | 0 | 0 | 0 | 44,892 | 89,784 |
| **合計** | **894,917** | **0** | **1,360,040** | **0** | **44,892** | **2,299,849** |

**●施設維持・更新コスト（****法廷耐用年数で単純更新した場合）**

　次に、施設の大規模改修などをせず、法定耐用年数まで使用した場合の今後50年間の維持・更新コストを試算します。

　鉄筋コンクリート造の厚沢部町国民健康保険病院は、法定耐用年数39年経過後の2025・2064年度に更新するとします。

　一方、木造の師長住宅は、法定耐用年数22年を既に経過しているので、仮に2022・2044・2066年度に更新するとします。試算結果は以下のとおりで、今後50年間の施設維持・更新コストは2,854,756千円となります。

※施設の面積については現施設の床面積で計算しています。

■試算条件

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 改築年度 | 改築単価 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 2025・2064 | 400,000円/㎡ |
| 師長住宅 | 2022・2044・2066 | 360,000円/㎡ |

（総務省の公共施設等更新費用試算ソフトから）

■今後50年間の施設維持・更新コスト

単位（千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 2022～2031年度 | 2032～2041年度 | 2042～2051年度 | 2052～2061年度 | 2062～2071年度 | 合計 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 1,360,040 | 0 | 0 | 0 | 1,360,040 | 2,720,080 |
| 師長住宅 | 44,892 | 0 | 44,892 | 0 | 44,892 | 89,784 |
| **合計** | **1,404,932** | **0** | **44,892** | **0** | **1,404,932** | **2,854,756** |

■今後50年間の施設維持・更新コスト比較

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 目標使用年数まで使用した場合 | 法廷耐用年数で単純更新した場合 | 差額 |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 2,210,065 | 2,720,080 | 510,015 |
| 師長住宅 | 89,784 | 89,784 | 44,892 |
| 合計 | **2,299,849** | **2,854,756** | **554,907** |

　以上の試算結果から、施設を目標使用年数まで使用した場合と法廷耐用年数で単純更新した場合を比較すると、施設を目標使用年数まで使用することで554,907千円縮減となります。

　上記の結果を踏まえ、施設維持・更新コストは、可能な限り「整備等の優先順位付け」の考え方を基に、改修費用等の平準化を図り、施設更新時には町の人口変動や財政状況などを考慮し、減築なども視野に入れて削減に努めていきます。

# (３) 実施計画の運用方針

　本計画の対象となる厚沢部町国民健康保険病院は、地域の在宅医療や救急医療といった地域医療を担う施設です。このような重要度の高さからも、従前まで行われてきた対症療法的な「事後保全」から、施設の劣化が大きくなる前に計画的に行う「予防保全」へと転換を図り、施設の機能を常に良好な状態に保つことが重要となります。医療機器や設備についても安全に使用できることを前提に置き、必要時には更新しなければなりません。

　本計画は、上位計画である総合管理計画と連携を図りながらも、町全体の予算とのバランスによっては、すぐに実施できない改修工事なども発生することが予測されます。よって必要な時期に必要な行動を促す仕組みを構築するため、ＰＤＣＡのマネジメントサイクルに沿った進捗管理を行います。

　また、利用者である地域住民の安全につながる劣化などを放置することはできませんので、定期的な劣化調査などを実施し、計画の見直しを行っていきます。

Do

（実施）

Action

（改善）

Check

（確認・評価）

Plan

（計画）

方針に基づく取組みの推進

取組状況の検証

具体化を促す仕組みの構築・改善

計画の策定・見直し

進捗管理

|  |
| --- |
| **厚沢部町　医療施設個別施設計画**2022年3月作成〒043-1113　北海道檜山郡厚沢部町新町14-1【厚沢部町国民健康保険病院】Tel：0139‐64‐3036Fax：0139‐64‐3036E-mail：byouin@town.assabu.lg.jp |